

投稿する前に、このリストに沿って原稿を点検し、本学会の『投稿・執筆規程』および『機関誌編集規程』に準じていることを確認してください。

【論文の種類】

1. 原著：図表を含めて本誌 6~10 ページ以内に収まる分量とする。
2. 総説：図、表を含めて本誌 6~10 ページ以内に収まる分量とする。
3. 資料：図表を含めて本誌 6~10 ページ以内に収まる分量とする。
4. 短報：図、表を含めて本誌見開き 2 ページとする。
5. 実践報告：図表を含めて本誌 6~10 ページ以内に収まる分量とする。
- 6 その他：図、表を含めて本誌 6~10 ページ以内に収まる分量とする。

【原稿】

1. タイトル（著者連絡先・謝辞）
2. 本文（下の書式を参考にして原稿を組み上げてください）
3. 表
4. 図

【本文】

1. 本文については、原稿ページ枚数確認のため次の書式にて、原稿を作成してください。

原著・総説・資料・実践報告・その他

1 ページは 1,978 文字(1 行 23 文字で 43 行, 2 段組)。

短報

1 ページは 2,444 文字(1 行 26 文字で 47 行, 2 段組)。

2. 査読はダブルブラインドを採用しています。本文には、著者が特定できる氏名や所属は書かないでください。
3. 指定のページ数は、タイトル、著者名、英文アブストラクト、本文、注釈等をすべて含めてのページ数になりますので、ご注紅ください。
4. 図表は見やすいサイズにて、本文内に貼り付けるようにしてください。
5. 短報は、ページ数が 2 ページと決まっています。文章を収めようとして、過度に図や表などを縮小して本文内に挿入しないでください。

『応用心理学研究』投稿前チェックリスト

◆論文の種類 ☐原著 ☐総説 ☐資料 ☐短報 ☐実践報告

◆原稿 ☐タイトル ☐本文 ☐表 ☐図

◆本文 ☐ 原著・総説・資料・実践報告・その他

1 ページは 1,978 文字(1 行 23 文字で 43 行, 2 段組)で作成されている。

☐短報

1 ページは 2,444 文字(1 行 26 文字で 47 行, 2 段組)で作成されている。

☐完成原稿（タイトル、著者名、英文アブストラクト、本文、注釈等をすべて含む）は、指定のページ数（短報は見開き 2 ページ、他は 6~10 ページ以内）で収まっている。

☐ 投稿原稿には、著者が特定できる氏名や所属が吾かれていない。

☐ 図表は見やすいサイズにて、本文内に貼り付けられている。

◆著者

☐ 連名者（共著者）も含めて著者は全員 H 本応用心理学会会員である。

☐ 著者、連名者を含めて、投稿する当該年度までの会費を完納している。

◆倫理

「日本応用心理学会倫理綱領」の趣旨を踏まえ、研究の実施や論文作成にあたっては、リストの項目だけでなく、全般的に倫理的配慮が必要である。

1. 所属または関連機関に倫理委員会がありますか。

☐ はい

☐ いいえ

2. 研究を行うにあたりその承認を得ましたか。

☐ はい

☐ いいえ

3. 実験や調査に先立ち研究参加者からインフォームドコンセントを得ましたか。

☐ 該当せず

☐ はい

☐ いいえ

4. やむを得ずインフォームドコンセントが得られない場合は、代替となる手段をとりましたか（親や責任者による承諾を得るなど）。

☐ 該当せず

☐ はい

☐ いいえ

5. 著者が連名である場合、連名者全員から投稿の承諾を得ていますか。

☐ はい

☐ いいえ

6. 著者が連名である場合、その順序は貢献度を適切に反映していますか。

☐ はい

☐ いいえ

7. 他者が作成した材料やプログラムを用いた場合、そのソースは表示されていますか。

☐ 該当せず

☐ はい

☐ いいえ

・ はいの場合、原著者からの承諾を得ていますか。

☐ 該当せず

☐ はい

☐ いいえ

8. 論文は著者自身によるオリジナルの論文ですか（オリジナルの論文とは他所に投稿中でない、または公刊されていない論文を指します。データの再分析が含まれるなど密接に関連する論文がある場合は、参考資料としてあわせてお送りください）。

☐ はい

☐ いいえ

9. 動物実験においては必要最小限の個体数で実験しましたか。

☐ 該当せず

☐ はい

☐ いいえ

10. 不適切あるいは差別的な用語や表現がないかチェックしましたか。

☐ はい

☐ いいえ

11. プライバシーは保証されていますか（データ収集や処理、論文に紹介する際の匿名性の保障など）。

☐ はい

☐ いいえ

12. 企業などと共阿研究を実施、あるいは企業などからの助成を受けましたか（利益相反（COI: Conflict of Interest）について、研究の公正性、信頼性を確保するためには、利害関係が想定される企業などとのかわりについて、適切に対応する必要があります）。

☐ はい

☐ いいえ